

日本共産党

ひめだ高宏ニュース

NO. 34

'08.9.17

解散・総選挙の足音と近づく

日本共産党中央委員会総選挙闘争本部は、15日(月)「もっとも早い総選挙の可能性」を10月14日公示、26日投票日を想定し、それまでに得票目標を大きく超える支持拡大を」という訴えを発表しました。気候は秋風が吹きはじめましたが、一方で熱い選挙風が吹きはじめています。がんばらなくちゃ!!

ポスター貼りにご協力を

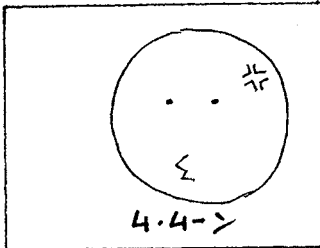
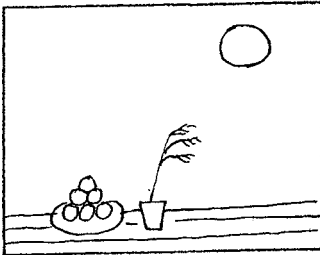
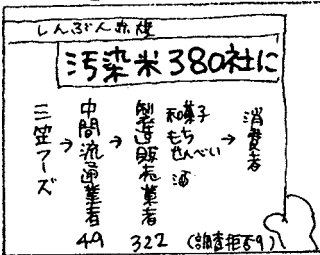
日本共産党のポスターが新しくできました。志士さんの写真のついた「政治の中身を変えるポスター」へ(下段左側)は、今貼れ出し中です。在庫は少しありま

す。下段右側のポスターと(2)面の5種類のポスターが近く到着します。街中にポスターを貼り出したので、ぜひみなさんのお宅の壁やハイなどに貼

フリーの人々



(577)



みかさのう
そにいかる
つきかも

政治の中身を変える

貧困なくし、平和な日本へ

日本共産党

日本共産党

らせてください。私、ひめだに連絡していただけたらポスターを持って貼りに行きますので、よろしく願います。どのポスターが指定してもらえれば、そのポスターを貼らせていただきます。

演説会は10月6日(月)に変更

会場は、ダイワロイネットホテル(公園前)19時から
丹士は、山下よしき参議院議員と、くにしげ秀明さん。

こんにちは
議員の
ふじい健太郎
です。
(その223)

9月県議会が始まりましたが、福田首相が政権を投げだして自民党の総裁選挙に目が奪われるようになりまし。これです。安倍、福田と二人続けて政権を投げだしたわけですが、政治のゆきづまりがここまで来たのかと改めて感じます。

小泉内閣が始めた構造改革の結末でもあろうかと思ひます。派遣労働の規制を取り扱ったことで、一気に非正規雇用と低賃金労働者が注み出されました。大企業と資産家の減税をすすめ、高齢者・勤労者には増税を行いました。高齢者だけの医療保険制度をつくり高齢者を高かろう思かろうの保険に困りこみました。証券・金融や商品取引の自由化をすすめる、原油取引の高値にうつつをもちません。政権交代は当然のことですが、自民党と同じ政策では政治は変わりません。大企業のお好き勝手に「王手」できるのは、日本共産党だけです。



ふじい健太郎
県議員

正規雇用と低賃金労働者

ポーターの設置要件緩和おかげです

9月11日(木)市議会一般質問で、日本共産党の渡辺忠広議員は、本町地区に設置が計画されている場外舟券売り場(ポーターピア)の設置要件について質問しました。

市は、昨年9月ポーターピア設置の市長の同意の要件としてきた地元の範囲について、設置場所が含まれる単位自治会に境界を接する

単位自治会、施設設置による影響が大きいと思われる単位自治会、連合自治会及び関係団体を削除し、単位自治会の同意だけで済みますことを求めました。

渡辺議員は、国会で日本共産党・こくた恵二衆院議員の質問に対し国交大臣が「設置により影響を大きく受ける、そういう地域は、その住民の理解が得られ

ることが大事だ」と答弁していることを示し、市長の認識を質しました。

市長は、「周辺住民の理解を得ることは非常に大事とする国の認識と同じ」と答弁しました。また自治会の決議についても、どういふプロセスでその合意がなされたかが大事という点も確認されました。これは、単位自治会の同意だけで地元の同意と見ないということ、要件の緩和前に押し

こくにちは日本共産党



です

福田首相の辞任表明と自民党総裁選。見苦しい政権のドタバタが展開されています。自公の政治が国民の支持を失ったもとでの辞任劇ですが、

総裁選に出ている候補からは、これまで政治への反省の色は見えません。税や社会保障料の負担の増大、大企業への減税、大企業にとっては使い捨ての派遣労働者の拡大など「構造改革」で国民を痛めつけてきたことには、まったくほおかぶりなのです。社会保障費を無理やり年



くにいげ秀昭 (衆院1区・比例)

日本共産党の政策ポスター

大企業のもうけ最優先から
庶民のくらしをささえる
政治に

政治の中身を変える

国政に福祉の心を
笑顔で受けられる
医療介護 年金に

政治の中身を変える

安価柔軟なくし、
基地のない平和な日本を

アメリカ力追従からぬげだします

政治の中身を変える

「価格保障」輸入自由化ストップ
安全な食料を日本の大地から

政治の中身を変える

映画「ふるさとをください」を見て

9月12日(金)シネマミストで、映画「ふるさとをください」を見ました。成人期の障害のある人たちか地域で、働く、活動する、生活することを応援する全国組織「きょうせいの会」が30周年記念につくった映画です。和歌山の「妻の郷」のフリーニング工場や

パン工場、和歌山各地を映して、場所を特定したものではありませんが、和歌山が舞台になっています。脚本は、ジェームズ三木、監督は、富永豊治、出演は大路真央、ベンガル、藤田弓子さん達で、笑いあり涙ありのユニカルな物語でした。